



●議員は原則2期・最長3期で交代 ●議員報酬は市民の活動費 ●選挙はカンパとボランティアで

# つくば・市民ネットワーク通信

発行：つくば・市民ネットワーク  
Tel&Fax:029-859-0264  
つくば市二の宮2-1-3クラフトビル1F  
tsukubahotnet@ybb.ne.jp  
https://tsukuba-net.jp



2019年10月18日 vol.60



広々とした小野川交流センターのロビー

例えば、福祉や地域の助け合いを把握している職員さんが居て、些細な困りごとでも気軽に相談でき、そこからすぐ

いかと考えました。  
つくば市内には17の交流センターがあり、趣味のサークルや市民の集会などに活用されていますが、高齢者に限らず徒歩や自転車で行ける地域交流センターは身近な存在です。ここを「相談窓口」と住民の居場所に活用できないかと考えました。

## 地域の身近な相談窓口

つくば・市民ネットワークの高齢福祉部会では、高齢者が地域で安心して暮らし続けられるためにどうすれば良いか、話し合っています。その中から地域交流センターを地域の核として活用するというアイデアが出ました。

地域交流センターを  
ぜひ見てください

# 身近な相談窓口と居場所に!!

私たちが思い描くロビーは、いつも子どもが本を読んだり遊んだり、サークルを終えた人や地域の人がおしゃべりし、顔見知りの高齢者が座ってお茶を飲んでいる。持参したお弁当でお昼を、というような、いつも人が集まり賑わっている気軽な居場所、交流の場所になっているロビーです。



もう一つはロビーをみんなの居場所とする事です。高齢者には「今日行く所がある。今日用事がある。」というのが大事と聞きました。

## ロビーを居場所に!

に支援へと繋いでくれる、そんな場所であれば良いと思いました。

## ちよつと残念な交流センターの現状

そんなロビーがどこかにあるだろうか、と市内全ての地域交流センターを手分けして訪問しました。センター長と懇談し、活用状況をお聞きしました。  
一九七〇〜八〇年代に建てられたものが多く、ロビーの活用まではあまり考慮されていなかったようです。ロビー



## 理想の交流センターを住民と行政の話し合いで

普段利用している人は部屋を使うことが主となりますが、地域交流センターですから、もつと地域の人々が交流しやすい場所に変えていってはどうでしょう。狭いロビーも広いロビーもセンター毎の工夫で変えることができ、



食事ができるスペースがあれば人も集まりやすくなります。まず地域住民と行政が一緒に知恵と意見を出し合ってみませんか? 市民ネットワークの高齢福祉部会も担当課との話し合いをさらに進めていきたいと思えます。

## あなたの声を 県民投票で 届けませんか?

アンケートにご協力ください

### 原発県民投票に関するアンケート

東海第二原発と県民投票について、あなたのご意見をお聞かせください。

Q1. 東海第二原発の再稼働への準備が進んでいることを知っていますか?  
a 知っている      b 知らなかった

Q2. 再稼働に対する「県の同意」に関して、次のどれがいいと思いますか?  
a 知事や県議会に任せる  
b 県民投票で県民の意思を聞く (投票結果を尊重する)  
c その他 ( )

Q3. ご自由にご意見をお聞かせください。

# 自己肯定感を育む「プレイパーク」

## 子どもにとって『遊び』とは？

『遊び』が子どもにとって不可欠ということについて、国や県からも様々な提言が出されています。しかし、放課後の過ごし方の調査によると、公園や校庭などで外遊びをして過ごす子どもはたった6%で、室内で過ごしたり、塾や習い事に行く子どもがほとんどです。（茨城県青少年健全育成審議会作成パンフレット「地域における子どもの『遊び』推進・支援」より）

つくば市内に公園は多数ありますが、様々な禁止事項があったり、近所から子どもの声がうるさいと苦情が出たりして、子どもの『遊び』が制限され、遊べる場所が非常に少なくなっている現状があります。そんな中、つくば市でも地域の大人や若者、行政が連携して、『遊び』の環境を作るために具体的な取り組みを提案しています。今年度、旧桜庁舎北側に整備中の「プレイパーク」もその一つです。

「プレイパーク」では、子どもの創造力を生かし、自発的で自由な『遊び』ができるように、大人のプレイリーダーが側面から支援します。また禁止事項をなるべく少なくし、大人も子どももだれもが自由に過ごせる場所です。

身近な公園でも「プレイパーク」が実施できるように、つくば市内の市民団体が試行的に取り組みを始めています。そこに遊びに来ている小学生が、夏休みの宿題の「人権」がテーマの作文で次のように表現しています。「プレイパークではやりたかったことができる。そして、がんばった時も、しょんぼりしている時もプレイリーダーが声をかけてくれ、僕の人権が守られる場所」だと。このようにプレイパークは、『遊び』を通して、子どものやりたい気持ちが尊重され、子どものありのまま認められ、結果として子どもの心身の成長や、創造性、社会性が育まれ、自己肯定感が培われる場所です。

日本の青少年の自己肯定感は、諸外国と比較して著しく低いことが問題視されています。地域コミュニティが崩壊しつつある現代、身近な公園で地域の子どもや大人が集い、お互いを認める場ができれば、大人にとっても「居場所」になることでしょう。このような「プレイパーク」が市内のあちこちに広がっていくよう、今後も取り組んでいきます。



つくば市議会議員  
市民経済委員会副委員長

## 皆川ゆきえ

### 一般質問項目

- ・不登校支援について
- ・地域における子どもの「遊び」推進・支援
- ・自然保育の推進について



つくば市議会議員  
総務委員会副委員長

## 小森谷さやか

### 一般質問項目

- ・児童生徒の急増する学校の対応について

# どうする学区の線引き 地域で話し合いを！

この度、新たに3校の学校建設計画が示されました。【2023年度：2校（研究学園2丁目、香取台）・2024年度：1校（みどりの）】せつかく造るのですから、これまでの課題を解決できるような良い学校施設を！と一般質問しました。提案した事柄は以下の通りです。

### ・学校施設を地域に開放して欲しい！

→これら地域には交流センターがないので、図書室や音楽室・図工室等の地域開放ができるような設計を要望しました。またコミュニティスクール推進のために、地域の人たちが集まって話ができるような部屋の設置も求めました。

### ・温水プールにして、市民も使えるように！

→年に2ヵ月も使わないプールを1校にひとつ造るよりも複数校で利用できる屋内温水プールを造り、授業以外の時間を市民に開放してはどうか、と要望しました。トータルで見れば維持管理費が安価で済む、という試算が他自治体で出ていることを紹介しました。

### ・自校式給食の導入を！

→できたての美味しい給食が提供できるだけでなく、地元産農産物の使用量を増やすことができます（センターだと大きすぎて地元農家だけでは対応が難しい）。なにより災害時にも活用できるなど、メリットがたくさんあります。

### ・再生エネと省エネ設備の導入でエコスクールに！

→災害時に避難所となる学校施設にはいざという時にも機能が維持できるように、太陽光発電や雨水利用システム、断熱効果をあげるための設備など、電気だけに頼らないシステムの導入が必要です。再生エネ利用による体育館の空調設備も要望しました。

### ・学区の線引きは、まず地区ごとの意見交換会から！

→新しい学校が建設されることにより学区の見直しが必要になってきますが、基本的には既存校の分離・新設計画という答弁でした。学区については、今まで通りの審議会の答申を受けて教育委員会が決定していく、というやり方では、住民の様々な考え方に対応しきれないと考えています。審議会が始まる前に、隣接する学区も含め地域で意見交換会を開催し、児童数の推計を示しながら「将来にわたって学校がパンクしないためにはどこで線を引くのが良いか」と住民と対話する中で合意を形成していく過程が必要だと要望しました。



料金受取人払郵便



差出有効期間  
2021年2月3日  
まで

郵便切手は  
いりません

POST CARD

305-8790

つくば市二の宮 2-1-3  
クラフトビル 1F

つくば・市民ネットワーク行



よろしければご連絡先をご記入ください。  
報告などをお送りします。

お名前 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

Email \_\_\_\_\_

議会改革進めています!

# 決算の審査方法が変わりました!



つくば市議会議員  
都市建設委員会副委員長  
議会活性化推進特別委員長

宇野 信子



「議会での決算審査を翌年度の予算にもっと反映できないか?」これが、議会基本条例を作ったときから、議会改革のテーマの一つでした。

これまでの決算審査は、9月議会に上程された決算認定案を審査するため、10数名の議員で構成する決算特別委員会を設置し、10月～11月に委員会審査を行い、12月議会で委員会報告、討論、採決を行っていました。

しかし、結論が出る12月には翌年度予算の編成が進んでしまっており、また、一部の議員で構成される決算委員会では、基本的な質問に多くの時間が費やされ、政策的な議論が十分行えない等の課題がありました。

そこで今回、決算審査の方法を見直し、9月議会中に決算委員会の審査を行って結論を出すことにしました。また、決算委員会の委員は議長と監査委員を除く全議員とし、4つの常任委員会(総務、文教福祉、市民経済、都市建設)を分科会として審査する形に変えました。

これにより、予算と決算を同じ分科会で審査するため、より専門的に一貫性を持って行政をチェックできるようになりました。新たな構成の決算特別委員会、特に4つの分科会でどのような審査が行われたかは、11月10日の議会報告会で各委員会から報告される予定です。

また、議会改革のもう一つの目玉である議会報告会では、新たな試みとして、後半の意見交換を4つの常任委員会に分かれて小グループで行います。皆様のご参加をお待ちしています。

**つくば市議会主催 議会報告会**

**2019.11.10(日) 13:30～16:00**  
つくば市役所コミュニティ棟1階 会議室1～3

前半は9月議会で行った平成30年度決算審査と、各委員会で取り組んでいるテーマについて報告し、後半は4つの常任委員会に分かれて、市民の皆さんと意見交換をします。事前申し込みは不要です。どうぞ気軽にご参加ください。

## 司書教諭

# 学校図書館の機能充実のため 補助員の勤務基準や条件を見直して!

学校図書館(学校の図書室)は、近年、学習のための役割に加え、子どもたちの居場所としても重視されてきています。その役割を果たすためにも専従者の配置は必須です。学校図書館法では12学級以上の学校には必ず司書教諭を置かなければならないと定められています。しかし、教員不足の現状では、司書教諭も学級担任との兼務で、図書館専従は難しい状況です。

### <小中全校に補助員の配置を!>

つくば市では司書教諭を補助する「司書教諭補助員」が2003年の請願を機に1日4時間・児童数に応じて週2～3日で小学校への補助員配置が始まりました。五十嵐市長に交代し、補助員の勤務日数が拡充され、現在は表の基準で、各小学校に司書か司書教諭の資格を持った補助員が配置されています。

とはいえ、スタート当初の「1日4時間」という基準は変わっておらず、児童数に応じるとしながら、600人以上はひとくりなので、義務教育学校のように1000人を超える過大規模校でも1人しか配置されていません。学校図書館の役割を果たすために今の補助員配置で十分なのか、質問しました。

答弁では「まずは全中学校へ補助員を配置したい。義務教育学校については、中学校への配置が進めば、後期分(5～9年生)として1人配置されるので計2人の配置となる。」とのこと。速やかに配置するよう予算化を要望しました。

### <機能の充実のために勤務時間の延長を!>

学校図書館は、情報過多ともいえる昨今、確かな情報が得られる場所として、ますます重要さが増えています。また、読書によりそれまで気付かなかったことや、悩みを解消するヒントが得られる側面もあります。しかし、これらは読まれてこそ得られる効果ですので、ガイド役としての司書によるレファレンスサービスやブックトークは欠かせません。

また、古くなった図書は更新が必要ですし、使用頻度が高い図書は修復や複数化も検討せねばならず、こうした蔵書点検を実施したいという現場の声もありますが、現在の勤務状況では困難です。

さらに、司書の常駐により、常時学校図書館を開放することで「こどもの居場所の確保」を重視している自治体もあります。

まずは全中学校への補助員配置を進め、並行して補助員の勤務時間の延長などを要望しました。

### 2019年度つくば市内の司書教諭補助員配置基準と現状

児童数	補助員の勤務条件	小学校数
400人未満	1日4時間、週3日	17
400人以上600人未満	〃、週4日	5
600人以上	〃、週5日	11

(2019年2月1日の児童数で配置人数を決定)



つくば市議会議員  
議会運営委員長  
文教福祉委員

北口ひとみ

### 一般質問項目

- ・学校図書館司書教諭補助員配置事業について
- ・県立高校の中高一貫併設について



### 9月議会 審議結果

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願」は採択、  
「市内の聴覚障害児への教育環境改善に関する請願書」は請願項目に限定せず、幅広い支援が必要という理由で趣旨採択になりました。

### 高エネ研南側未利用地に関する

#### 調査特別委員会が設置されたけれど…

‘高エネ研南側未利用地’とは、2015年のつくば市住民投票の結果を受け白紙撤回された(仮称)総合運動公園の予定地約46ha(約66億円)のこと。

2016年市長になった五十嵐市長は、元の所有者へ返還交渉したが受け入れられず、その後この土地の活用について随時市民へも報告をしながら、検討を進めてきた。2017年8月、土地の売却も視野に入れ市場調査・検討を進めると発表があり、今年8月には議会全員協議会で民間からの事業提案等踏まえ、一括売却の方向性が示されていた。

ところが、9月に行われた市民説明会で異論が多々出された。議会では「このまま進めているのか」との一般質問が相次ぎ、調査特別委員会が設置される運びとなった。

現在、この土地に関しては、約66億円の借金に係る利子分だけでも年間約3000万円が雪だるま式に増えている。また、入るはずの固定資産税年間約6000万円は入ってきていない状況。

つくば・市民ネットワークは可及的速やかに調査・研究を行い、特別委員会が責任をもって提案につなぐよう、議論を進めていきます。



主な活動報告

- 7/16 講演会「こんな感じでオヤジやってます  
～重度知的障害のある息子が家族から離れて地域で暮らす～(岡部耕典さん)」参加
- 7/21 県民投票フェス(シール投票)参加
- 7/24 シンポジウム「東海第二原発の再稼働と直接民主主義」参加
- 7/28, 8/31, 9/29 つくば市民による財政白書づくりの会
- 7/28 「子どもの免疫を脅かす有害化学物質  
～インシアネート、ビスフェノールA～」参加
- 7/29, 8/30 中心市街地まちづくり調査特別委員会勉強会
- 8/ 2 市民経済委員会視察(皆川)
- 8/ 4 学習会「東海再処理施設と福島第一原発のリスク  
～廃止措置の現状とゆくえ～(春橋哲史さん)」参加
- 8/ 8 議会活性化推進特別委員会視察(宇野, 皆川)
- 8/19 道路・公共交通体系及びTX沿線整備調査特別委員会(小森谷, 皆川)
- 8/19 議会全員協議会
- 8/21, 22, 23, 25 議員と話そう会開催
- 8/30 ひたち野うしく小学校見学
- 9/3～9/27 9月定例市議会
- 9/3, 9/27 議会活性化推進特別委員会
- 9/13 「いっしょに学ぼう!ゲノム編集食品とは?何が問題か?」参加
- 9/14 アイラブつくばまちづくり表彰式・フォーラム参加
- 9/15 小泉純一郎講演会「わたしたちの未来を語る」参加
- 9/16 敬老福祉大会
- 9/28 講演会「ひとりぼっちをつくらない  
本当の居場所とは?(木本一颯さん)」参加
- 10/ 11 リサイクルセンター施設見学

※テーマごとの部会活動の他、市の各種委員会・審議会等も多数傍聴しています。

新聞で 市民ネット事務所を 市民の憩いの場に!

エコバッグを作ろう!

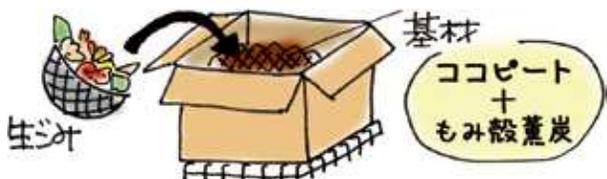


11月20日(水) 10～12時  
市民ネット事務所

新聞の気に入った絵柄でエコバッグを作ります。  
参加費:500円  
※先着10名様、要申込み  
申し込み先:859-0264

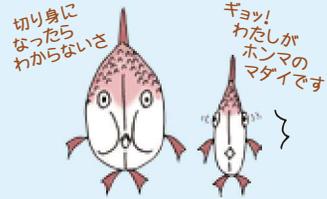
11月16日(土)、17日(日) つくばカピオ北側広場  
環境フェスティバルのブースで  
ダンボールコンポスト紹介します!

ダンボールコンポストとは、ダンボールの中に基材を入れ、それに生ごみを入れて毎日混ぜるだけで、生ごみが発酵し堆肥になるという簡易生ごみ処理器。百聞は一見に如かず、環境フェスティバルにぜひおいで下さい。



ゲノム食品～表示は義務化を!

従来の「遺伝子組み換え」は生物に他の生物の遺伝子を組み込む技術です。安全性への疑問、また作り出すのに莫大なコストがかかり、大企業による種の独占が進んでいます。しかし、「ゲノム編集」は、酵素を使って狙った特定の遺伝子を操作するため、非常に簡単に操作できてしまいます。現在実用化に向けた研究が進んでいるのは特定の遺伝子を除く技術です。例えばマダイの筋肉量をコントロールする遺伝子を破壊すると、筋肉だけが異常に増殖し、切り身がたくさん取れる「ダブルマッスルマダイ」になります。遺伝子を取り除いて生物を改変する技術はタイだけでなく、トマトやじゃがいも、イネなどでも行われています。厚生労働省では、これらの生産物(生物)は自然界の突然変異との区分は難しい、と「任意の届け出のみで表示義務なし」としました。しかし、そもそも人間の都合のいいように、急激に他の生物に改変を加えていいのでしょうか?安全性は?環境影響は?新しい技術であるゲノム編集は知る、考える、そして選ぶことが必要です。さまざまな審査を行い、表示の義務付けを求める署名に取り組んでいきます。



署名用紙はこちらから

傍聴記

初めて市議会を傍聴しました。「不登校支援」「地域での子供の『遊び』」「自然保育」など、日頃から気になっているテーマで、持ち時間をめいっぱい使ったの質疑応答に手に汗を握りました。やはり議場は臨場感がありました。

議会前に「議員と話そう会」に初めて参加しましたが、参加された方の声が質疑に盛り込まれており、私たち市民の声が市政に届く過程を肌身で感じる事が出来ました。(J. O)

インターン体験記

つくば・市民ネットワークでは、若年投票率の向上を目標に活動するNPO法人ドットジェイピーの、学生を対象とした議員インターンシッププログラムに協力しています。これは、議員と行動を共にする事により、その仕事への思いや、政治と社会のつながりを知る体験学習プログラムです。今回参加した3人の学生に、感想を聞きました。



約2ヶ月間皆川議員や、つくば・市民ネットワークに所属する方々と行動を共にさせて頂き、私は大変に貴重な経験を得ました。子供たちが自由に遊べるプレイパークや、議員とつくば市民が直接対話をする場面に立ち会えた「議員と話そう会」等、多種多様な活動を体験させて頂ける、つくば・市民ネットワークのもとでのインターンを、私は是非次のインターン生に強く勧めたいです。(S. M)



この二ヶ月間のインターンは私にとって初体験の連続でした。ポスティングや議会傍聴またプレイパークなどその活動は多岐にわたり、そのどれもが初めての経験でとても新鮮なものでした。しかし初めての経験だったからといって戸惑う事はありませんでした。必ず議員さんや市役所の方がサポートして下さったのでどの活動も充実したものでした。このインターンを通して私は色々な人に支えられて生きているんだと改めて実感しました。(Y. T)



私が印象に残った活動は「議員と話そう会」です。これはつくば・市民ネットワークの議員さんたちと市のあれこれについて議論できる場です。市民の方のリアルな意見を議員さんに直接伝えられるのはとても良いと思いました。他にもポスティングなどを体験させていただき、裏での地道な活動により表で活躍されていることを知ることが出来ました。このインターンシップはとてもよい経験となりました。(K. K)

議員と話そう!会

定例市議会の報告を兼ね、代理人(市議)の北口、宇野、皆川、小森谷を交え、様々な情報と意見交換を行います。お気軽にご参加ください。

11月9日(土) 10:00～12:00 つくば・市民ネットワーク事務所

11月15日(金) 10:00～12:00 つくば市役所コミュニティ棟 会議室6